

特別賞

私たちが動物にできる事

赤坂小学校 河野 優希

私は、旅行先で行った公園で木の皮を一生けん命にむいているリスを見た。すぐ近くでは、ビルなどがたくさんあり、小さな公園でしか住む場所がないのではないかと思い、リスが公園でしか住めないのは、周りの人間が木を切りビルを建てた事がいけないのではないかと考えた。一番の問題は、このように人間が動物の住む場所をとり、動物の住む場所がなくなっている事だ。

ビルを建てたり、木を加工し、売るために人間はどんどん木を切っている。人間がやった森林破壊により減少してしまった動物は、たくさんいる。鳥、クマ、トラなどの動物もそうだ。

私たちは、動物のつごうも考えずに森林などを破壊している。そのため動物は住む場所を選ぶという自由を人間のせいであらわれてしまった。動物たちはしいられた環境の中で、静かにひっそりとくらしている。

私たちが切ってしまった木、動物たちの住みかの木は、どういう働きがあるのか調べてみた。木は、生態系ピラミッドの中の、草食動物の下だ。草食動物は、牛、馬、象、リスなどで、草食動物は、草などの植物があるから生きる事ができるといふ事だ。さらに、植物は人間が出す二酸化炭素を吸収し、動物たちがすう酸素を放出する。植物は動物たちにとって、なくてはならないものだということが分かる。

私たちは、地球の中の木、植物を「人間の物」と考えてはいけないと思う。動物の食べ物である木、呼吸をするための木、なくては生きていけない物、私たちが動物は共存しなければいけないと思う。なぜなら人間は、動物を食べたり、動物たちのちえで生きているからだ。その動物たちが生きるためには、二酸化炭素をきれいな空気に変えることができる植物の力が必要だ。その植物を切っているのは人間だ、人間は、自分たちが便利になるために木を切っている。調べているうちに私は、木がなくなり住みかをなくし、絶めつしてしまった動物、小さい所の中でしかくらせなくなった動物を知って、申しわけない気持ちになった。そして私たちは動物のために何ができるか考えた。まず生き物が住む場所を作る事だと思う。木を植え、緑をふやし、きれいな空気を作る事も大切だと思う。

自分たちがしてしまった、あやまちをみとめ、考え、動物たちと向き合い共存していく方法をうみ出す事が大切だと思う。